

# 民報 ゆうばり 1市4町の会新春行動に30人

## 国民の生活と医療現場を守れ！



1月9日、今年初の1市4町の会「新春アピール」行動は、市内外の市民団体など約30人が参加し夕張コープさつぽろ前からスタートしました。最初に、地元議員というところで、日本共産党を代表してくまがい桂子議員がスピーチし、続いて、立憲民主党から栗山町議の千葉さん、社民党から道連浅野幹事長、地元市民団体から、「明日の平和をつくりだす夕張の会」共同代表渡辺さん、「新日本婦人の会夕張支部」から斎藤さんが、それぞれスピーチしました。終了後は隣の栗山町へ、翌10日は長沼、由仁、南幌でアピール行動を実施しました。

### 国民の期待を裏切る菅政権

その一方で菅政権が年末に閣議決定した21年度予算案は、残念ながらコロナ対策を願う国民の期待を裏切る内容です。中小企業を支える給付金は、再給付ナシ。

### 政治の腐敗も極まる菅政権

政治は、これ以上許されません。政治の腐敗も極まっています。安倍前首相が「桜を見る会」前夜祭で違法な費用補てんを行っていた

## 格差をただし暮らし応援のクリーンな政治へ 困っている人にやさしい政治 野党連合政権を

《くまがい市議のスピーチの概要をお伝えします。》

「今年にはコロナ感染拡大の中で新年を迎えました。多くの方が、感染の終息、そして子どもたちも若者もお年寄りも、だれもが一人ひとり大切にされ、元気に生き生きと暮らせるようになってほしい、そう願っているのではないでしようか。日本共産党は今年一年、そんな社会のために心と力を尽くしてまいります。」

緊急事態宣言に伴って、1店舗1日6万円の助成は打ち出されましたが、雇用を守る助成金も2月で打ち切り、縮小です。血も涙もありません。その代わりに、大企業の利益のためのデジタル庁に5千億以上、軍事費は過去最多の5・3兆円です。

国民の生活を省みない政治、現場の悲鳴を置き去りにした

ことが発覚しました。安倍前首相は、国会で118回以上のウソをついていたのです。さらに自民党の吉川元農水大臣が、国会議員を辞めました。吉川氏は北海道2区の選出でした。大臣の立場を利用して500万円のワイロに手を染めたので、辞職は当然です。しかもワイロの目的は、家畜を劣悪な飼育から守る国際基準を、緩めるよう求めるものでした。動物たちを健やかな環境で育てるのは、今や世界の流れです。食の

そんな「食の安全」を、汚い金を使ってゆがめようとするなど言語道断です。吉川氏本人は勿論、菅政権にも真相解明の重い責任があります。政治の腐敗も極まっています。安倍前首相が「桜を見る会」前夜祭で違法な費用補てんを行っていた

吉川氏の辞任に伴う北海道2区の補欠選挙は4月25日。菅政権に「NO」を突きつける重要な選挙となります。さらに、今年には総選挙の年でもあります。

換えます。経済効率だけを求めず、格差が正される社会。医療や福祉などを守るケアに手厚い社会8時間働けば普通に暮らせる社会を目指します。もうけを増やしている大金持ちや大企業にはきちんと負担を求めます。

もう金権腐敗の政治家はいりません。日本共産党は、国民のいのちと暮らしを守るクリーンな政治へ、市民と野党の共同で全力を尽くし、今年の総選挙で野党連合政権の誕生を目指します。

- 2つ目に、憲法、民主主義、平和を守ります。
- 3つ目に、アメリカや中国、ロシアなどにモノ言える政治にします。
- 4つ目に、原発や核のごみ押し付けを止めて、自然と共生する社会を作ります
- 5つ目に、ジェンダー平等社会を実現させます。

### 日本共産党 5つの提案

そのために、困っている人にやさしい政治へ、「5つの提案」を発表しました。1つ目に、弱肉強せんか。」

# 第52回新婦人の会 夕張支部大会開催！

2020年12月12日(土)9時30分から、夕張市拠点総合施設「りすた」に夕張労働組合総連合議長・筒井勇治さん、日本共産党夕張市委員会委員

長・くまがい桂子さんを迎えて開かれました。

お二方の来賓からは、新型コロナウイルスは、感染拡大の状況にあつて、PCR検査の社会的検査の必要性、命とくらしを守るた

「今年にはコロナ感染拡大により、活動も少しばし休止したが、各班会員同士が協力し合つて今日の日を迎えることができま

た。来年は、課題をひとつひとつやり遂げてたくさんの会員参加で元気な大会にしましょう」と呼びかけました。

その後、活動報告と会計報告について提案があり、五つの班の代議員から一年間の活動の苦しみと喜びの具体的な発言を受けた後、議案は採択されました。

2021年、「力を合わせて進もう」と誓い合い、大会を終りました。



## くずさんの 夕張歴史散歩(150)

### 明治維新64朝鮮植民地支配 ④⑥ 関東大震災での朝鮮人殺りく

1923年(大正12)9月1日、午前11時58分、ちようどお昼の時間でした。東京・横浜を中心とした関東地方一円は、突如として大地震(最大震度7)に襲われました。

おりからの強風にあおられ、家々は破壊・火災が起こり三日三晩燃え続けます。

死者・行方不明10万5千人といわれる大惨事となりました。不安と混乱の中で「朝鮮人が井戸に毒を投げ入れた」「放火した」「暴動を起こしてる」とかのデマ・流言が飛び交います。

こうした中で、日本刀や竹やりで武装した自警団が組織されぞくぞくと避難してくる群衆にたいし、辻々に検問を布き朝鮮人とみれば「不逞朝鮮人」として迫害・殺害に及びます。

#### 戒厳令下の蛮行

政府は戒厳令を発し軍隊を派遣しますが、軍隊・警察自体朝鮮人・中国人を虐殺します。

警官はメガホンを手に「朝鮮人襲来」を警告し、「殺しても差し支えなし」と公言する警察署長もおり、治安行政のトップである内務省警保局は「朝鮮人は各地に放火し、不逞の目的を遂行せんと」していると全国に打電しています。\*

これら公然とした残虐行為は、3日に戒厳司令部が、明確にデマを否定するまで続けられ、朝鮮人・中国人・間違われ

て殺された日本人含めその数は数千人に及ぶと推計されます。



惨殺された朝鮮人の遺体。本所の隅田川河畔に引き上げられた遺体は手を後ろで縛られていた。

\* 加藤直樹 しんぶん赤旗「日韓の歴史をたどる」⑩より  
(関東大震災つづく) (『画法日本近代の歴史9』から)



紙智子「国会かける記」  
参議院議員  
紙智子

#### 困っている人に寄り添う

日本列島に寒波が押し寄せ厳しく冷え込み、コロナ禍で例年のない年末年始です。元旦は衆議院比例予定候補の島山和也さん、伊藤りち子さんと白石区の白石神社前、清田区の厚別神社前での街頭宣伝からスタートしました。

仕事初めの4日は、札幌駅前朝宣伝。新春の諸行事が中止になる中、感染への細心の注意を払いながら、団体訪問を行いました。コロナの影響が大きい観光・旅行業の(株)旅システムでは、国の支援策や経営状況、要望等をお聞きしました。同業者8社で持続化給付金の再給付、雇用調整助成金のコロナ特例の延長・増額等を求めるアピールを発表するといっています。

北海道の種の会の皆さんが、遠方から駆けつけてくださり、昨年の種苗法改正案の論戦と運動、今後の課題について意見交換、今後にかかします。

北海道難病連センターでは、昨年「保健文化賞」(保健・福祉分野で顕著な実績を残した人に贈られる)を受賞されたお祝いを述べ、増田靖子代表と意見交換しました。「経済は、後から取り戻しても、人の命はもとに戻りません」という言葉が胸に残ります。新婦人、農民連、民医連、道労連等は、困っている人たちに寄り添い、連帯し支えようとする姿に胸が熱くなります。前に向かい打開しようとする姿に胸が熱くなります。いよいよ1月22日に核兵器禁止条約が発効され、核兵器は違法化されます。今年初の「6の日」行動に参加し、日本で署名・批准を実現させようと訴えました。